

株式会社

パーカーコーポレーション

所在地:東京都中央区日本橋人形町 2-22-1

パーカーコーポビル

業 種:工業用ファインケミカル、自動車用防音材製造販売

T E L:03-5644-0600



## エコカーやモノレールの軽量化にも寄与する強化歯車の開発

小さく軽量で丈夫なパーツを製造することは機械製作における常なる課題である。

近年広く普及されているエコカーなどに使用されるパーツには特にそれが必要とされている。

この研究では、特殊な表面加工技術の開発により歯車の強化に成功した。

### 本業の動向について

主要業は自動車関連の防音材、シーリング材等内装関係や機械、金属加工の洗浄剤、防錆剤など表面加工剤の製造。また、アメリカ、ヨーロッパメーカーの工業機械の輸入もしている。

業況としては、リーマンショック、東日本大震災以降立て直しを図ってきたが、タイで起こった洪水により再度ダメージを受ける。しかし来期以降はこの反動による浮上を見込んでいる。

### 公設研究機関との連携事業について

#### 連携先公設研究機関の名称

名古屋市工業研究所

#### 所在地

愛知県名古屋市熱田区六番三丁目 4 番 41 号

#### 連携内容

ショットピーニング、ショットパレルを用いた歯車の表面加工による長寿命化の研究。取り組み期間は H21.4 ~ H23.3。強化された歯車は新都市交通車両、自動車、バイク、船などに使用される。近年ではエコカー等の普及により、本技術を用いた小さく軽量で丈夫な製品の需要が高い。

#### 連携した動機やきっかけ

かねてより交流のあった橋本技術士事務所様が公設試験研究機関にて講義を行っており、そこで本開発事業についての紹介を受けた。元々こういった公的施設や事業の存在を知らなかったが、現在でも交流は続いている。

#### 連携の効果

評価試験による正確なデータを得られたことや、金銭的負担や人的負担が抑えられたことは効果があったといえる。中でも公設試による性能評価の結果、ユーザーへ向けたより良い技術紹介ができるようになったことはとても大きい。今後はいかに商品化へと結び付けていくかを課題としている。

#### 連携して最も効果のあったこと

全国に支社を持つが、公設試との連携は社内では初めてのこと。こういった事例により他の支社でも開発を進めようといった動きに繋がってきている。

#### 連携して最も困難だったこと

すぐに研究に取り組むことができるわけではなく、必要な機器の発注や導入までに 3~4 ヶ月程の期間を要したこと。

#### 連携するメリット・デメリットについて

メリットとしては、企業側にも相応の予備知識が必要とされるが、専門分野に長けた研究員の意見やアドバイスを聞けることである。

#### 連携に際しての注意、アドバイスなど

様々な情報やアドバイスをもらえるので、自社の関連企業など横のつながりも大事。はじめは書類申請などのノウハウがなく難しい為、既に利用している企業からのサポートや情報があるとより捗る。

また、大学や管理法人が介入することによりまとまりのある動きが可能になったり、資料作成などで助言をもらえることもある。

### 公設研究機関との連携で行政に望む支援

一部企業のみで利用され内輪で盛り上がっている感があるので、制度や支援の存在を広くアピールして欲しい。書類申請や手続き等の手間を軽減して間口を広げると良い。

#### 会社概要

設 立 : 昭和 26 年

資 本 金 : 22 億 100 万円

従業員数 : 232 名

U R L : <http://www.parkercorp.co.jp/>